

本県調査船等の主要目等（水産関係）

1 調査指導船「いわき丸」（水産海洋研究センター）

(1) 主な業務

東日本大震災の津波で沈没した「いわき丸」の代船として、従来の資源管理型漁業の推進に必要な海洋環境調査や資源調査に加え、魚介類への放射性物質の影響や、長期にわたる操業自粛が水産資源に及ぼす影響などを調査する。

(2) 主要目

平成26年10月竣工	出力	1,323kW	全長42.92m
総トン数189トン	航海速度	13ノット	鋼製
乗組員	15名		

海底土放射線連続観測装置、計量魚探、CTD、トロール網漁労装置等



2 調査指導船「拓水」（水産資源研究所）

(1) 主な業務

本県沿岸漁業の早期再生・復興を図るため、主に水深50m以浅の沿岸・浅海域での水産資源や放射性物質関連調査等を実施する。

(2) 主要目

令和4年3月竣工	出力	809kW	全長26.4m
総トン数37トン	航海速度	16.2ノット	軽合金製
乗組員	定員7名		

ワーブネットウインチ、軽量魚群探知機、海洋データ処理システム等



3 調査船「あづま」（水産事務所）

(1) 主な業務

沿岸漁業における漁業秩序維持のため、漁業取締り及び指導を行うとともに、沿岸環境のモニタリング（海水、底質、水産物）調査活動を行う。

(2) 主要目

平成28年11月竣工	出力	1,482kW×2	全長26.9m
総トン数59トン	航海速度	32ノット	軽合金製
乗組員	5名		

近赤外線監視カメラ装置、アンチローリングジャイロ、多機能型レーダー等

